

コロナ禍、保育園選びどう進める 見学に制限…散歩や動画から雰囲気

会員記事

2020年10月13日 5時00分

シェア

ツイート

ブックマーク

スクラップ

メール

印刷

[list](#)

0



わかたけかなえ保育園で行われているオンライン見学会。画面に日頃の保育を記録した動画を映し出している（同園提供）

来春の保育園の入園に向け、多くの自治体で申し込みの受け付けが始まり、「保活」が佳境を迎えている。しかし、コロナ禍の今年は、感染予防のために見学を中止したり、縮小したりする園が少なくない。そんななか、どのようなポイントで保育園選びをするべきか、専門家に聞いた。

▼[ここから続き](#)

東京都内の会社員の女性（33）は、来春の職場復帰を目指し、長男（1）の保活中だ。この冬以降に転居の可能性もあることから、複数の自治体の保育園を検討しているが、園に見学申し込みの電話をしても、「少人数制で受け付けており、日程に空きがない」「玄関先までしか入れない」と言われることが続き、「限られた情報で何を判断していいのか……」と戸惑う。

り、日程に空きがない」「玄関先までしか入れない」と言われることが続き、「限られた情報で何を判断していいのか……」と戸惑う。

子育て世代の顧客が多い、スマホの写真プリントアプリ「ALBUS（アルバス）」が9月、都内で保活をしている母親329人を対象にインターネットで行った調査でも、「新型コロナウイルスの感染拡大が保活に影響している」と答えた人が8割いた。具体的な影響は（複数回答）「保育園見学を受け付けてくれない」が43・9%で最も多く、「外出自粛で保活が出遅れている」「保育園の見学受付数に上限があり、すぐに見学できない」などが続いた。

■共済への加入は

「保育園を考える親の会」の普光院亜紀代表は、「たとえ見学ができなくても、園の雰囲気を知る方法はある」とアドバイスする。たとえば、保育園の子どもたちが散歩で集まる近くの公園などに出かけてみると、日頃の保育の様子もうかがえる。「保育士が子どもときちんと目線を合わせて対応しているか、遊びでの関わり方はどうか。可能な範囲で、実際の雰囲気を感じる機会があった方がよいと思います」

また、保育事故などに詳しい弁護士の寺町東子さんは、園が日本スポーツ振興センター（JSC）の災害共済に加入しているかのチェックが重要とする。けがや後遺障害などのとき、園の過失を問わずに補償されるため「保育事故に備え、真摯（しんし）な姿勢で臨んでいるかの一つの判断材料になる」とする。

ほかにも、自治体などが公表する立ち入り調査の結果なども目安になる。たとえば東京都福祉保健局のホームページでは、認可保育園や認可外保育園の立ち入り調査の結果が各施設ごとに公表されており、その内容も確認することができる。

■画面越しに質問

一方、東京都板橋区の認可保育園「わかたけかなえ保育園」では、今年度の見学希望者への対応はすべてオンラインに変更した。

10月初旬に開催された「オンライン見学会」では、保護者数人と園をビデオ会議システムでつなぎ、約1時間のプログラムを行った。保育理念や定員といった基本的な情報のほか、普段の園の様子や行事風景などを動画にまとめて紹介。その後は質疑応答の時間を設け、園長と保護者がお互いの顔を見ながらコミュニケーションをとった。

同園の山本慎介園長は「一方的にならないようにするのが難しい」としながらも、1日の保育の流れや年間行事などは、一度の見学より動画の方がイメージを伝えやすいと感じているという。（中井なつみ）